

研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 2	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Dietary folate, alcohol consumption, and risk of non-Hodgkin lymphoma. 葉酸摂取、飲酒と非ホジキンリンパ腫の危険性について	
執筆者	
Polesel J, Dal Maso L, La Vecchia C, Montella M, Spina M, Crispo A, Talamini R, Franceschi S.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Nutr Cancer. 2007;57(2):146-50.	
キーワード	
飲酒、葉酸、非ホジキンリンパ腫	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>葉酸やその他の微量栄養素(ビタミンB2,B6,B12やメチオニン)の不足は悪性腫瘍などの様々な疾病との関連が示唆されてきた。しかし、非ホジキンリンパ腫に関しては結果が一致していない。葉酸摂取、飲酒と非ホジキンリンパ腫の関連を明らかにする。</p> <p>方法：</p> <p>1992-2000年にイタリアで病院ベースの症例対照研究を行った。症例は18-84歳の非ホジキンリンパ腫と組織診断された患者190人とした。対照は飲酒や食事療法と関連のない急性疾患や非腫瘍性疾患のため入院した患者484人とした。飲酒を含む食習慣について食品摂取頻度調査表を用いて情報を得た。栄養素摂取はイタリアの食品栄養素データベースを用いて計算された。それぞれの栄養素5分位と非ホジキンリンパ腫の関連を検討するためにオッズ比(OR)と95%信頼区間(95%CI)を摂取エネルギーで調整したモデルで求めた。</p> <p>結果：</p> <p>全体では非ホジキンリンパ腫と葉酸(OR = 0.9)、ビタミンB2(OR = 0.9)、ビタミンB6(OR = 0.8)、メチオニン(OR = 0.7)の摂取は関連を認めなかった。しかし、禁酒者と過去飲酒者では統計的に有意に非ホジキンリンパ腫と全ての栄養素は負の関連を認めた。一方、飲酒者ではこれらの関連は認めなかった。</p> <p>結論：</p> <p>これらの結果はアルコールは炭素代謝で反対に作用し非ホジキンリンパ腫の病因となっている可能性を示唆する。しかし、全体ではこのような関連を認めなかったこと、また、症例数が少ないことから結果の解釈には注意が必要であろう。</p>	